

行政・公的機関

3.21	観光政策審議会が、意見具申「国際観光の新たな発展のために」を内閣総理大臣に提出
3.31	運輸省が「自家用バスを使用して行う貸切バス経営類似行為の防止について」、日本旅行業協会(JATA)へ通達
4.1	中小旅行者の電子機器導入に対する特別減税措置実施(1985年度まで)
4.1	旅行業の更新登録手数料、旅行業務取扱主任者試験受験手数料引上げ
4.26	運輸省が「旅行者による不当景品類及び不当表示防止法違反の防止について」、JATAに通達
5.1	「国際観光ホテル整備法」、一部改正。防火安全対策の規定を整備(8.1施行)
5.24	「高度情報化社会が旅行業に与える影響調査委員会」の第1回会合開催
6.1	日本・スリランカ航空協定締結。即日発効
6.8	国際観光振興会(JNTO)が「テレツーリスト」(外客向け催物電話案内)を京都に設置、サービス開始
6.13	運輸省が、全日空のハワイ・チャーターを認可
7.1	各省が機構改革を実施。運輸省に国際運輸・観光局誕生。総務庁新設
7.1	スカンジナビア政府観光局デンマーク・スウェーデン開設
8.1	オーストラリア北部特別地域観光局開設
9.13	運輸省が「海外旅行に係る事故防止について」、JATAへ通達
10.9	公正取引委員会が「旅行業における景品類等の制限に関する公正競争規約」および「旅行業における景品等の提供に関する事項の制限」を告示(1985.1.1施行)
10.2	日本・マレーシア首脳会談で、マレーシア航空、日本航空、ノースウエスト航空のサンフランシスコ/東京/クアラルンプール線共同運航を合意
11.1	エジプト政府観光局開設
11.6	日本観光協会が台北に台湾事務所を設置
12.5	運輸省が、日本航空が要請しているフィルアップ・ライト(空席活用権)を、成田/大阪、成田/福岡に限って認める方針を提示
12.2	日本貨物航空の米国乗入れ問題で、日米航空非公式協議、ワシントンで開催(～21)
12.20	「旅行業法施行規則」一部改正。主催旅行を行う旅行者の営業保証金を50%引上げ(1985.4.1施行)

旅行業

2.1	旅行業制度検討委員会が、新業法施行後の問題点、割賦販売法改正問題を検討
2.28	新東京国際空港公団が、空港ロビーの混雑緩和のため、ターミナル・ビル内の団体集合禁止の意向を日本旅行業協会(JATA)へ説明
3.14	JATAと全国旅行業協会(全旅協)が、旅行商品の割賦販売法適用除外の要望書を、通商産業省に提出
3.15	旅行業OA研究会が、第1回「旅行業実践ワークショップ・セミナー」を東京で開催(～16)
4.6	日通航空が上海に、日本旅行業界初の駐在員事務所を開設
5.1	日本交通公社(JTB)が、「海外ホテル・クーポン」の発売開始
6.20	トラベルジャーナルが、創立20周年を記念し、「日本人の海外旅行20年——1964～1983」を刊行
6.29	中国から、初の訪日観光団(50人)来日(～7.6)
7.5	日本の旅行者18社が、日豪線の増便要望を発表
7.30	東急観光が、レーザーディスク使用の映像情報システムの使用開始
8.1	西武百貨店旅行事業部が、国際会議プロジェクト部を設置
8.23	JTBが、イベント開発を目的とする子会社「(株)ジェイ企画」を設立
8.30	JATAが、交通事故対策について、中国旅行遊覧事業総局へ要望書を送付
9.1	パキスタン北部で観光バスが転落。日本人観光客4人死亡、9人重軽傷
9.13	韓国南部で観光バス事故。日本人観光客1人死亡、26人重軽傷
9.19	近畿日本ツーリストが北京に、日本旅行業界2番目の事務所を開設
10.2	近畿日本ツーリストがシドニーに事務所を開設
10.4	JATAが安全対策特別小委員会を設置し、第1回会合を開催
11.1	全旅協と全日空が業務提携で合意(5日調印)
11.2	公正取引委員会が「旅行業公正取引協議会」を承認
11.2	JATAと全旅協が、営業保証金の引上げが旅行者の経営を圧迫することのないよう、運輸省に陳情
11.2	JTBが「(株)JTBプライダール・サービス」を設立
12.1	東急観光が西武運輸と提携し、乗車券の宅配サービス開始
12.20	旅行業公正取引協議会が、仮事務所を東京に開設(1985.1.1正式発足)

航空

1.1	日本航空が、東京/アンカレジ線週7便の運航再開
1.26	羽田空港の沖合拡張工事開始
2.1	日本航空と全日空が、景品合戦を開始(2.15中止)
2.1	「日本飛行船(株)」発足
3.1	タリフ・ファイル業務を行う「(株)オーエフシー」(オフィシャル・ファイリング・カンパニー)が、業務を開始
3.9	大阪空港騒音公害訴訟で、国が13億円を支払い、和解
3.15	富山空港、ジェット化完成
3.18	コンチネンタル・ミクロネシア航空が成田/グアム線のノン・ストップ便週4便の運航開始
3.22	日本航空が、ユナイテッド航空の米国内低運賃「UAコンボ」を差別運賃として、米国民間航空委員会(CAB)に提訴
4.3	日本航空が、南回り欧州線のパーレーン寄港(週2便)を開始
4.4	日中定期貨物便の運航開始
5.3	ノースウエスト航空が、ロサンゼルス/東京/上海/広州線週2便の運航開始。同航空は、35年ぶりに米中路線再開
5.10	「(財)航空科学振興財団」設立
6.18	日本航空が、国際航空運送協会(IATA)の1983年国際定期輸送実績で世界第1位に
7.1	日本航空が「JAL情報システム」を実用化
7.1	山形空港新ターミナルビル、完成
7.2	エアランカ航空が成田/コロンボ線直行週2便を運航開始
7.9	全日空がサイパンへ初のチャーター便を名古屋から運航
8.24	全日空が、ハバロフスクへの初のチャーター便を函館から運航(28日に福岡から運航)
9.17	日本航空とカンタス航空が、日豪線の1985年4月からの増便を合意
9.24	全日空がハワイへの初のチャーター便を福岡から運航
9.24	ユナイテッド航空とノースウエスト航空が、米国内低運賃の他社利用を認める
10.1	「関西国際空港(株)」(竹内良夫社長)発足
11.1	タイ国際航空が、大阪/バンコク/チェンマイ線の運航開始
11.5	日本航空が北京に、中国最初の事務所を開設
11.30	航空会社のキャプテン・サービス開始
12.2	ヴァリグ・ブラジル航空がブラジルへ、週3便の運航開始

海陸交通／ホテル／保険／その他

1. 1	東京ヒルトン・ホテルが東急系の「キャピトル東急ホテル」となる
1. 1	東急ホテル・チェーンが、ロサンゼルス、ニューヨーク、ロンドンにセールス・オフィスを開設
2. 1	JALホテル・システムの南西グランド・ホテル石垣(236室)開業
3. 3	国鉄の青函連絡船「摩周丸」で火災
3.12	「'84国際ホテル・レストラン・ショー」、東京・晴海で開催(～16)
3.15	ホテル京阪京都(328室)開業
4.26	「ドイツ博'84」、東京・晴海で開催。入場者100万人(～5.6)
6. 5	国鉄が、一時帰休、出向、勧奨退職などの人減らし策を発表
6. 8	「'84札幌国際見本市」開催。日本企業72社、外国26か国参加。入場者20万人(～17)
6.15	プリンス・ホテルズが、シンガポールにクラウン・ホテル(303室)を開業
7.10	国鉄が、過剰人員を関連企業へ出向させると発表
8.10	国鉄再建監理委員会が、分割民営化を明示した「第2次緊急提言」を首相に提出
8.20	海外旅行傷害保険に、治療費用保険のみの支払特約および国内旅行傷害保険の入院通院費用のみの支払特約新設
9. 1	東京・新宿に、東京ヒルトン・インターナショナル(842室)開業
9. 1	JALホテル・システムが「ニココー・ホテルズ・インターナショナル」に改称
9.14	大森東急イン(204室)開業
9.27	六本木プリンス・ホテル(221室)開業
10. 6	「国際伝統工芸博・京都」、京都市で開催(～12.9)
10.2	国鉄が東海道・山陽新幹線に、富士、掛川、三河、尾道、東広島島の5駅を、1987年までに開設することを決定
10.2	ホテル・ニューオータニ・シンガポール(408室)開業
10.2	大阪全日空ホテル・シェラトン(500室)開業
10.3	全日空が運営するフラマ・シンガポール・ホテル(345室)開業
11. 4	大阪21世紀計画の「'84御堂筋パレード」開催。観客103万人
12. 1	わが国初の大規模な旅行博覧会「世界旅行博」、東京・池袋で開催。40か国の政府観光機関、120企業参加。入場者6万8,000人(～16)

社 会

1. 4	三菱自動車が、米クライスラー社との合弁生産を決定
1.17	ロッキード事件の児玉誓士夫被告死去
2. 1	日産自動車の英国進出正式決定
2.12	植村直己、北米マッキンリー山の冬季単独登頂に成功後、消息を絶つ(4.10に国民栄誉賞が贈られる)
2.29	カメラの大沢商会倒産(戦後3番目の大型倒産)
4.27	控訴審が、ロッキード事件の小佐野被告に懲役16か月、執行猶予3年の判決
5.18	貸レコード・テープを規制する著作権法改正法が成立
5.20	大相撲の高見山が引退
6.15	エリマキトカゲが日本に初到着
7.27	リッカー・マシン倒産
8. 3	日本専売公社を民営化する法律成立
9. 6	全斗煥韓国大統領来日(～8)
9.12	かい人21面相が森永製菓に1億円を要求
9.14	長野県西部地震(M6.8)発生
9.28	電電公社の高度情報通信システム(INS)のモデル実験が東京・三鷹／武蔵野地区でスタート
9.29	「名古屋城博」開催(～11.25)
10. 6	東京・有楽町の日劇跡と朝日新聞社跡に、有楽町センタービル(愛称「マリオン」)がオープン
10.3	オーストラリアから、コアラ6頭到着。東京、名古屋、鹿児島動物園へ
11. 1	新札登場(1万円札＝福沢諭吉、5千円札＝新渡戸稲造、1千円札＝夏目漱石の肖像)
11.2	東京・世田谷で地下通信ケーブル火災。電話9万回線不通(24日復旧)
11.30	キャプテン・システム実用サービス開始
12.20	電電民営化の関連3法案成立 [ベストセラー] 赤川次郎「愛情物語」、司馬遼太郎「箱根の坂」 [ヒット曲] 五木ひろし「長良川艶歌」、チェッカーズ「涙のリクエスト」、芦屋雁之助「娘よ」 [ヒット番組] NHK「山河燃ゆ」、フジテレビ「笑っていいとも」、NHK/民放「ロサンゼルス・オリンピック」、TBS「スチュワーデス物語」 [流行語] 疑惑、かい人21面相、まるび・まる金、エリマキトカゲ、ザンガ、イッキ・イッキ、キンクマン、くれない族、教官! [ヒット商品] しょうちゅう、チューハイ、コアラ、チェッカーズ・ファッショ、キン肉マン、エリマキトカゲ、ラッコ

海 外

1.17	B737-300 1番機、ワシントン州レントンで初公開
2. 8	第14回冬季オリンピック・サラエボ大会開催(～19)
2. 9	ソ連のアンドロポフ書記長死去。後任にチェルネンコ氏就任(2.14)
3. 1	ブラニフ航空が1年10か月ぶりに運航再開
3. 3	「ITBベルリン」(旅行見本市)開催。国際観光振興会(JNTO)ほか20社が参加(～9)
4. 1	ユナイテッド航空とノースウエスト航空が、自社の太平洋線旅客に対し、国内低運賃の提供を開始
4. 2	太平洋観光協会(PATA)第33回総会、コロンボで開催。1987年総会の大阪開催決定(～6)
4.12	中華航空が世界一周路線を完成
5. 4	中国が、中国民航に次ぐ第2の航空会社「厦門航空公司」を設立
5.12	「1984年ルイジアナ万国博覧会」(国際河川博覧会)、ニューオーリンズで開催。日本館入場者180万人(～11.11)
5.14	第16回「ディスカバー・アメリカ・インターナショナル POW WOW」、シアトルで開催(～16)
5.17	米民間航空委員会(CAB)が、ノースウエスト航空の「ビジットUSA」運賃を、国際運賃と認定
6. 1	カナダが、国内航空運賃の自由化を実施
7. 1	中国国際旅行社(CITS)が、総合服務費を値上げ
7. 3	エア・フロリダ倒産
7.16	英国民間航空庁(CAA)が、「航空会社競争政策」を運輸相へ答申
7.28	第23回オリンピック・ロサンゼルス大会開催(～8.12)
8. 9	CABが「USコンボ」等を国際運賃と決定
9.26	中国とイギリスが、1997年以降の香港返還問題について、共同宣言を発表
10. 5	英国政府が、CAAの「航空会社競争政策」を却下
10.3	国際航空運送協会(IATA)第40回総会、モントリオールで開催。事務総長にギンター・O・エザー氏を選任(1985.1.1就任)(～30)
10.3	インドのガンジー首相暗殺される
11. 4	米国旅行者協会(ASTA)第54回総会、ラスベガスで開催。5,680人参加(～9)
11. 6	米大統領選挙でレーガン現大統領再選
12. 3	第1回日ソ観光会議、モスクワで開催(～6)
12.3	米国で、CAB(民間航空委員会)廃止